

こ ほ く と し ょ か ん

## 江北図書館だより

<発行> 公益財団法人 江北図書館 2018(平成30)年5月1日 発行  
〒529-0425 長浜市木之本町木之本1362 ☎・fax:0749-82-4867 **第18号**  
ホームページ: <http://www.geocities.jp/kohokutoshokan/>

開館時間 午前9:30～午後5:00(日曜日は午後2時まで) 休館日 毎週月曜と第1・3日曜、祝日

### ◇情報化社会における江北図書館の想い◇

富田光彦(理事長)

図書館とは、著者の想いや感想、思想などが言葉となり、本という形に凝縮された「知の林」あるいは「知の宝庫」と表現してもよいと言えましょう。そこは、学ぶ、調べる、読む、楽しむ、思索する、そして交流する場であるとも言えましょう。

古来わが国では「蛍の光 窓の雪 文読む月日…」と歌われているように人々は時間を惜しんで読書に親しんできました。しかし、20世紀末からの急速な情報技術の発達により、欲しい情報が容易に得られる「便利」な世の中になりました。しかし、安易に得られる情報は、ともすればフィルターにかけられず一方的に流れ去る傾向があるため、読書を通じて得た知識や知見とは異なり、繰り返し吟味され、心の中に蓄積されることが少ないように感じられます。また、情報機器の普及が、活字離れや読解力の低下をもたらしつつあるという声もあります。そればかりではなく、もし21世紀後半、手軽に得られる電子媒体からの情報に過度に依存することが当たり前の社会となれば、人材は枯渇し国力は衰退して行くのではないかと懸念されます。

滋賀県には公共図書館が50館あります。その内49館は公立図書館で、私立図書館は公益財団法人江北図書館だけです。全国の公共図書館3992館の内、私立の公共図書館は当館を含め19館です。公共図書館だが公立図書館ではない当館は、極めて限られた資金で運営しているため、消耗品化された本の購入は極力控え「知の耐久財」的な図書収集に重きをおき、学ぶ、調べる、読む、楽しむ、思索する場であり続けることを心がけています。

中高年の利用者はもとより、特に次代を担う若者たちに希望したいことがあります。皆さんが江北図書館という「知の林」「知の宝庫」の中をさまようことにより「生きる糧」となる本に出合ったり、無意識に求めていた「知の鉱脈」を掘り当て掘り進むうちに、自然と吸収し蓄積した「知」を、見識や教養へと昇華させ、人間力の強化に役立てて欲しいということです。

情報化時代において、江北図書館が「貧者の一灯」の役割を果たすことができれば、これに勝る喜びはありません。



## 読み聞かせ入門連続講座開催！

子供たちに読み聞かせをすることが、めずらしくなくなりました。例えば、介護の場でも読み聞かせや紙芝居が活躍しています。

昨年の秋の読書週間に、一日だけの読み聞かせ講座を開催しました。初心者・経験者7名の方に参加していただき、いい講座になりました。ただ1回のみでの体験で、本当に入門で終わってしまいました。

そこで今年は、連続講座を企画しました。

日 時	8月17日・24日・31日（いずれも金曜日）午後1時30分～3時
会 場	江北図書館
講 師	明定義人（当館館長）
定 員	先着 5名
申込先	江北図書館

7月10日(火)より受付を開始いたします。  
直接ご来館いただくか電話にてお申込み  
ください。（合計3回の受講となりますので  
ご注意ください）参加費は無料です。



読み聞かせが、読む側にとっても聞く側にとっても、たのしい時間となるためには、様々な工夫と準備が必要です。だれに読むのか、何を読むのか。字面を追うだけでは伝わりません。少人数を対象に、3回にわたって丁寧なレッスンを計画しています。ぜひご参加ください。

### ◇予告◇

秋には高齢者向け「歴史講座—日本歴史入門」開催を予定しています。

歴史というと暗記物という印象が強くありませんか？歴史好きの人は限られていて、歴史を苦手とする人からすると「？」「？」「？」です。歴史研究は進んでいます。

なぜ銭形平次は一文銭しか投げなかったの？

室町時代はどんなお金を使っていたの？

歴史に詳しい人ならあたりまえでしょうが、日本人の常識ではありません。

「日本歴史入門」というプランに、予習は必要ありません。

乞うご期待を。詳細は別途お知らせいたします。（講師 明定義人）

### ◇お知らせ◇

#### ◎江北図書館の貸し出し方法がかわりました！

これまで貸し出しごとに、貸出記録を記入していただいていたおりましたが、初回に登録手続きをしていただくだけの貸出方式で、本を借りていただくことにいたしました。職員も不慣れですので、何かと不手際が生じると思いますが、手続きの簡略化にご理解をいただきたく存じます。

## ◇ご寄附をいただいた方のご芳名とお礼◇

平素は当館の活動をご理解いただき、多くの方々からご寄附をいただきまして、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

以下は、平成29年4月1日から平成30年3月31日の間にご寄附をいただいた方々のご芳名です。ご芳情に重ねて厚く御礼申し上げます。 (敬称略、50音順)

雨森 以純	いわな会	遠藤 稔	大塚 節子	奥村多栄子
川岸 高眞	黒田 忠嘉	毛塚 力夫	小今井 寛	小海 正
佐藤 明男	田中 節子	谷 和夫	谷口 武男	冨田酒造(有)
中川 渡	中野 章子	長野 勝	中原 吟子	西橋 一夫
二俣 和雄	宮川 清			

## ◇ご寄附のお願い◇

皆様には、日頃、江北図書館をご支援いただき誠にありがとうございます。

江北図書館は明治39年、伊香郡役所の全面的な支援を得て開設された滋賀県では現存最古の図書館です。

当館には、伊香郡役所資料、伊香相救社文書、明治初期の郡内地籍図など貴重な史資料があり、滋賀大学経済学部にて「江北図書館文庫」として保管していただいております。これらの史資料の研究を進め、その成果を社会に還元することにより、住民の皆様へ地域の歴史をより深く知っていただく一助となるよう努めています。

また当館は、次の活動を使命と心得て、日々努力しています。

1. 利用者に満足していただける図書館サービスの提供
2. 貴重史資料を活用した研究および展示会等の開催
3. 地域関連の図書および子供向け図書、教養書等の重点購入
4. 寄贈希望図書の選定・受け入れ・登録
5. 旧伊香郡内に散在する古文書・史資料の収集
6. 老朽化の激しい木造モルタル建物の維持保全と修理



しかし、現状はこれらの活動を円滑に行うことが財政上極めて困難な状態にあります。残念ながら、公益財団法人の図書館には公的資金の交付はなく、当館の安定的な年間収入は、駐車場収入を加えて年間わずか約220万円というのが実情で、限られた図書購入、警備保障、人件費、光熱費、固定資産税等の支出のため、使命を満足に実行できない状況にあります。

皆様には、上記1～6を推進する意義と当館の現状をご賢察いただき、伝統ある江北図書館の事業が継続できるよう、深いご理解とご賛同、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、当館にお寄せ下さる寄附金には、税制上「税額控除」又は「所得控除」の優遇措置が受けられます。確定申告の際にどちらかをお選びいただくことができます。